

**第二期熱海市  
まち・ひと・しごと創生総合戦略**

**令和3年3月  
熱海市**



# 目 次

第1章 第2期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたって.....	1
1. 策定の主旨 .....	1
2. 第2期地方創生総合戦略の期間と推進体制 .....	1
(1) 対象期間 .....	1
(2) 目標指標 .....	1
(3) 推進体制 .....	2
第2章 第2期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略 .....	3
1. 第2期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の目標 .....	3
2. 戦略の体系 .....	4
基本目標1 変化しつづける温泉観光地を目指す .....	5
基本目標2 稼ぐ力を高めることで若者の安定した雇用を創出する .....	7
基本目標3 新しい人の流れをつくる .....	9
基本目標4 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる .....	11
基本目標5 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する .....	13



# 第1章 第2期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたって

## 1. 策定の主旨

本市の人口動向は、1995年から自然減・社会減で推移していましたが、2002年以降は、社会増の傾向が高くなり、自然減・社会増で推移しています。

しかし、社会増減は増加傾向に転じているものの、少子高齢化の進行により自然増減は減少傾向が続いており、今後も人口の減少が続いていくことが予想されます。

これから続いていく人口減少を和らげるため、結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえ、生活面の充実を図るとともに、本市の産業や文化、歴史等の強みを生かした「暮らしやすさ・過ごしやすさ」をさらに追求し、魅力を育み、ひとが集う地域を構築することがより一層求められます。

さらに、地域の外も視野に入れて、観光、商業、水産業など、地域の持つ特性を生かして域外から稼ぐとともに、域外から稼いだ資金を地域発のイノベーションにつなげる等、地域の隅々まで循環させることにより、地域経済を強くしていく必要があります。

また、人口減少は、その歯止めに時間を要し、歯止めをかけたとしても一定の人口減少が進行していくと見込まれることから、生活・経済圏の維持・確保や、生産性の向上などに取り組み、人口減少に適応した地域をつくっていくことが大切です。

このような状況を踏まえて、第1期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略を継承し、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

## 2. 第2期地方創生総合戦略の期間と推進体制

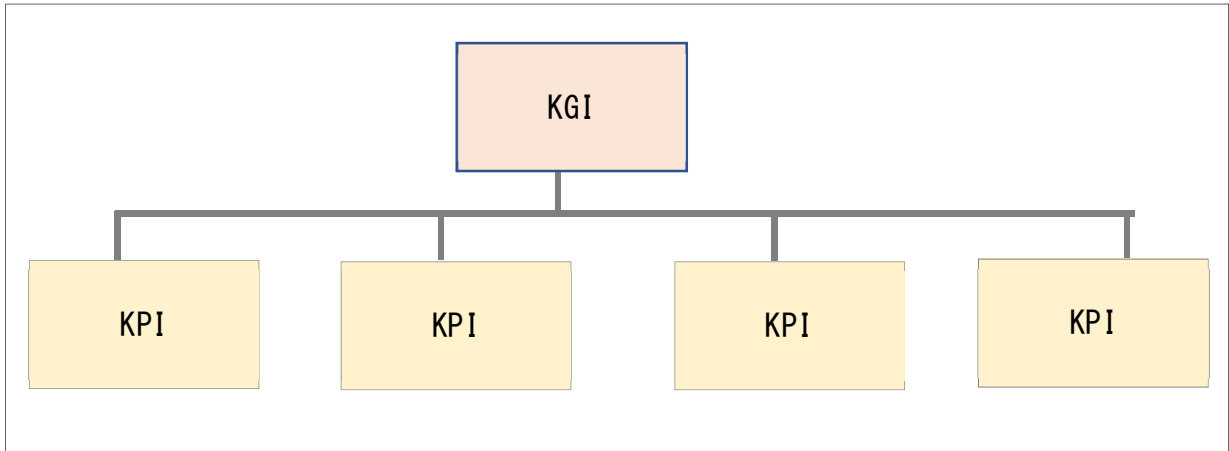
### (1) 対象期間

第五次熱海市総合計画との整合を図るため、2021年度から2025年度までの5か年の計画とします。

### (2) 目標指標

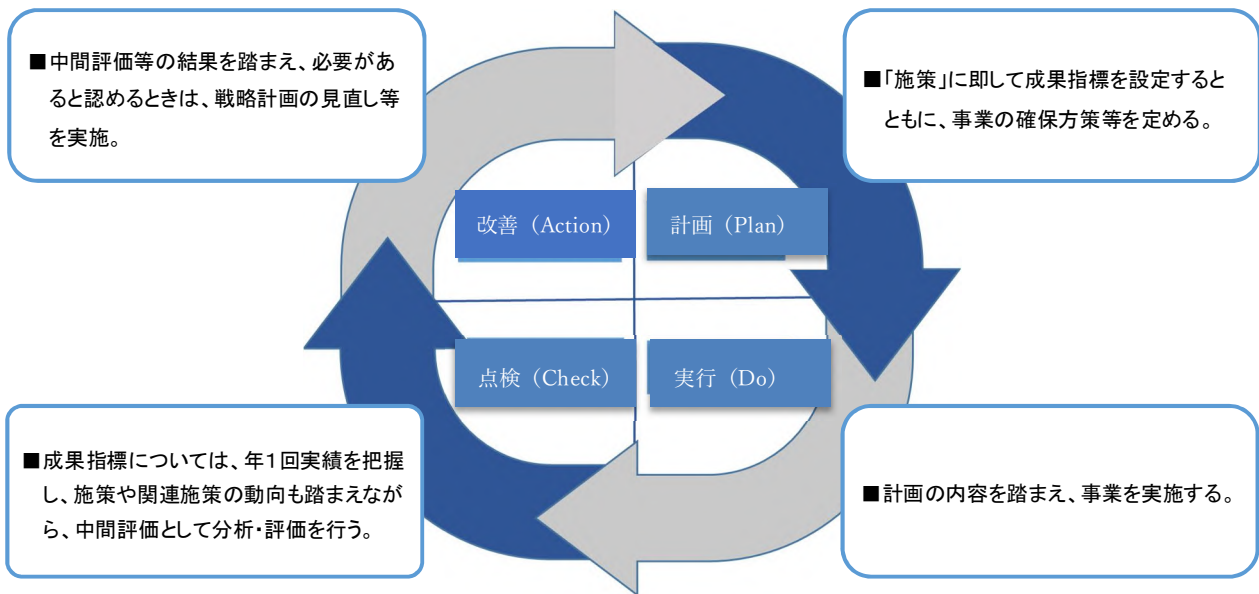
「直接的・中間的な成果」をKPIと呼びます。KPIとは、Key Performance Indicatorの略で、重要業績評価指標とも呼ばれます。KPIは最終的な目標を達成するための、過程を計測する中間指標のことです。最終的な目標を達成するためには、様々な過程を経ていかなければいけません。その最終目標を達成するために不可欠な過程を洗い出し、過程をどのくらいの状態で通過できれば、最終的な目標が達成できるか、そしてしっかりとクリア出来ているかどうかを数値で計測するのがKPIです。

また、最終的な目標はKGIと呼ばれています。KGIとは、Key Goal Indicatorの略で、最終目標が達成されているかを計測するための指標のことで、総合戦略では、基本目標のことを指し、重要目標達成指標とも呼ばれます。



### (3) 推進体制

本計画は、まち・ひと・しごと創生に向けた政策5原則（自立性・将来性・地域性・総合性・結果重視）に基づき、2025年度の目標年次に向けて着実に実施していきます。また、本計画は、成果（アウトカム）を重視し、数値目標、重要業績評価指標（KPI）に基づいて施策や事業の効果を検証し、必要に応じて本計画を改訂していくというPDCAサイクルのもと、外部有識者等を含む検証機関を設置し、基本目標に示す数値目標及び具体的な施策に係るKPIの達成度を検証していきます。



## 第2章 第2期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 1. 第2期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の目標

地域の社会や経済に大きな影響を与える深刻な問題である人口減少問題を克服するためには、市をあげて取り組んでいく必要があります。

人口構造の転換には長い年月と長期的な視野が必要です。人口減少対策への施策が出生率向上に結びつき、成果が出るまでには、仮に出生率が人口置換水準まで向上しても、人口が安定して推移するようになるまでにはさらに時間を必要とします。しかし、対策ができるだけ早く講じられ、出生率が早く向上すれば、その後の出生数は増加し、将来人口に与える効果は大きくなります。

また、出生率が向上したとしても、今後数十年間の出生数を決める若年層の人口が減少し続けることになれば、将来の人口減少を止めることは困難になります。そのためにも、地域の活力を向上させ、若い世代が集まり、安心して働き、希望どおり結婚し、子どもを生ま育てることのできる地域社会を実現し、本市の将来を担う人材を呼び込み、また、流出させない取組も必要となってきます。

このため、地域の活性化により地域経済の縮小を防止するため、宿泊客の増加や別荘所有者の来訪頻度を高める、「滞在人口の増加」と、本市にさまざまな形で関わりを持つ「関係人口」の増加を同時並行的に推進していくことで、人口減少の緩和と市内経済規模の維持を図っていきます。

さらに、本市のもつ特性を生かしながら、生活・経済圏の維持・確保や、生産性の向上などに取り組む、人口減少にも適応した持続可能な地域社会を実現していくことが大切です。

また、第2期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「熱海市総合戦略」という。）の基本目標ごとに、SDGsの目指す17のゴールと関連付けることで、SDGsと一体的に推進するとともに、人口減少問題を解決するための施策を推進し、人口減少と地域経済縮小の克服、「しごと」と「ひと」の好循環とそれを支える「まち」の活性化を目指します。

## 2. 戦略の体系

本市が、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現を目指すため、第1期の成果と課題等を踏まえて、以下のとおり、次の5つの基本目標の下に取り組みを進めます。

基本目標1 変化しつづける温泉観光地を目指す

基本目標2 稼ぐ力を高めることで若者の安定した雇用を創出する

基本目標3 新しい人の流れをつくる

基本目標4 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標5 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する



## 基本目標Ⅰ 変化しつづける温泉観光地を目指す



観光は、訪れる側に、発見や驚き、知識や感動、安らぎや楽しみ等を与えるほか、受け入れる側にも経済的価値に加えて達成感、満足感等の精神的価値を生じさせ、訪れる側と受け入れる側の幸せにつながっています。

これまでの観光戦略は、インバウンドの増加、観光入込客数の増加、観光消費額増加を目指して、「体験型」、「高付加価値型」、「宿泊・滞在型」を志向してきました。

しかし、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、全世界的に人の移動が制限され、観光・ビジネスの双方について、国内外から各地域への人の流入が激減しました。

その影響により、暫くの間は観光客数が回復せず、インバウンドは当面減少することが前提となると考えられます。

また、今後は、観光客の行動が変容する可能性が高く、例えば、多人数による行動が避けられ、個人・少人数、そして、非接触・非対面の観光が進むことも予測されます。

このため、ウィズコロナ時代における本市の観光戦略として、観光関連業の持続性をどのようにして高めるか、観光客の行動変容にどう対応し、価値を提供するかについて民と官が連携して取り組んでいくことが必要です。

### (1) 基本とする目標（重要目標達成指標（KGI））

地域ブランド調査における魅力度ランキング 10位以内（2020年 11位）

### (2) 講ずべき施策に関する基本的方向

ウィズコロナ時代における本市の観光戦略として、宿泊事業の持続性をどのようにして高めるか、観光客の行動変容にどう対応し、変化しつづけ、いつ来ても新鮮な価値を提供するかについて民と官が連携して取り組んでいくとともに、シティプロモーションに取り組み、変化しつづける温泉観光地を目指します。

### (3) 具体的な施策と事業

施策名	事業の内容
観光客数の増加	<p>ターゲティングを行い、熱海市の海、温泉など観光地の魅力の向上や、情報発信をはじめとした多様な誘客活動を官民連携しながら行っていきます。また、観光まちづくりに携わる人材・団体の育成及び支援を行っていき、市の観光資源の魅力を積極的に創出することによって、地域の活性化を図ります。</p> <p><b>【具体的事業等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ブランドプロモーション及びメディアプロモーションの充実・強化</li> <li>・まち歩きガイドの養成講座の開催</li> <li>・地域観光活動に対する支援</li> <li>・ライトアップ等によるナイトスポットの整備</li> <li>・観光まちづくり推進組織（熱海型DMO）の構築</li> <li>・広域・地域連携による回遊促進施策の実施</li> <li>・周辺市町との観光客誘客協力事業</li> <li>・観光ニーズ等に対する調査・分析、観光統計の整備</li> <li>・中心市街地の回遊性向上と、他の地域へのにぎわい波及</li> <li>・泊食分離の推進とワーケーションニーズへの対応</li> </ul>
[重要業績評価指標] (KPI)	宿泊客数 325万人（2018年 309万人）
インバウンドの対応	<p>外国人観光客の誘客を促進するため、観光案内などの多言語表記等により、外国人観光客を誘客する環境整備を進めていきます。</p> <p><b>【具体的事業等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設等が実施する外国人観光客受入環境整備事業への支援</li> <li>・外国人誘客促進事業</li> </ul>
[重要業績評価指標] (KPI)	外国人観光客数 70,000人（2018年 34,950人）

## 基本目標2 稼ぐ力を高めることで若者の安定した雇用を創出する



人口減少が進行し、特に、労働力人口の減少、消費市場の縮小が懸念される中、ひとが訪れたい、住み続けたいと思えるような地域を実現するためには、地域の稼ぐ力を高め、やりがいを感じることでできる魅力的なしごと・雇用機会を十分に創出し、誰もが安心して働けるようにすることが重要です。このため、地域の特色・強みを生かした産業の振興や企業の競争力強化を図り、効果的に域外から稼ぎ、効率的に域内で富を循環させる地域経済構造を構築することが大切です。

具体的には、観光業、商業、農林水産業、ものづくり産業などの強みを有する産業を見定め、生産性向上やイノベーション創出の基盤となる市場競争の促進に向けて、地域の中小企業が思い切った経営革新やチャレンジに取り組める環境の整備等を進めます。

さらに、こうした取組を通じた地域経済の活性化を推進するに当たり、最も重要な要素はひとつであることから、地域企業の成長戦略を実現するために必要な専門知識や、ノウハウ、経験を有する人材の育成・確保に一層取り組んでいきます。

他方、様々な人々が地方で安心して働けるようにするためには、地域の稼ぐ力を高めるだけでなく、多様化する価値観やライフスタイル・ワークスタイルも踏まえ、誰もがその力を発揮できる就業環境や自分の居場所を見出せる環境づくりを通じて、しごとの場であり生活の場である地域全体の魅力を高めることが必要です。

### (1) 基本とする目標（重要目標達成指標（KGI））

市内従業者数（事業所単位）	20,000人（2016年 19,637人）
---------------	------------------------

### (2) 講ずべき施策に関する基本的方向

若者の安定した雇用を創出するためにも、従業者のスキルアップや雇用条件の改善などが求められています。市では、関係機関と連携した人材マッチング支援やインターン・職場体験を実施し、労働力の確保を推進します。また、積極的な創業支援を進めることにより、新たな雇用を創出していきます。

(3) 具体的な施策と事業	
施策名	事業の内容
労働力の確保	<p>本市の特色を生かす産業の育成や振興に取り組むとともに、関係機関と連携した人材マッチング支援や事業承継支援により雇用の場の確保や労働力の確保に努めます。</p> <p><b>【具体的事業等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTを活用した労働環境の効率化・改善の促進</li> <li>・ A-biz（熱海市チャレンジ応援センター）による事業者間マッチングの推進（新商品開発や販売促進のための、異業種間交流・連携の場の提供）</li> <li>・ 事業承継に関する情報の提供及び相談体制の構築</li> <li>・ 誰もが安心して活躍できる労働環境づくりの推進</li> </ul>
[重要業績評価指標] (KPI)	事業承継（相談）支援数 10件（2019年 0件）
創業支援	<p>第3次産業に従事する就業者が8割を超えている本市にとって、若者を中心とした新たな雇用を創出するため、積極的な創業支援や新たな産業の誘致を進めます。</p> <p><b>【具体的事業等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域資源活用事例の内外への情報発信</li> <li>・ リノベーションまちづくりの推進</li> <li>・ A-biz（熱海市チャレンジ応援センター）による伴走型支援の充実</li> </ul>
[重要業績評価指標] (KPI)	A-bizの伴走型支援による創業及び新分野進出数 10件（2019年 9件）

## 基本目標3 新しい人の流れをつくる



東京圏への一極集中の傾向は継続しています。大都市圏への転入超過数の大半は若年層であり、多くの若者が進学、就職の機会を捉えて集まってきているものと考えられます。

地方へのひとの流れをつくるため、「地方にこそ、チャンスがある」といった若者等の夢や希望を抱いて地方へ移住する動きを支援し、本市を訪れ、住み続けたいという希望の実現に取り組みます。

また、本市への移住を促進するためには、将来的な移住にもつながるよう、本市に対して継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大に取り組むとともに、企業や個人による地方への寄附・投資等により地方創生の取組への積極的な関与を促すなど、資金の流れの創出・拡大を図ります。

### (1) 基本とする目標（重要目標達成指標（KGI））

39歳以下の社会減を50%削減（2019年 173人）

### (2) 講ずべき施策に関する基本的方向

市外に流出している人の流れに歯止めをかけるため、雇用創出施策に加え、若者に向けた労働環境を整備します。また、将来的な移住、定住につながるよう関係人口の創出、拡大を図るため、別荘所有者を始めとした方への情報提供に努めるとともに、魅力的な返礼品の充実などにより、ふるさと納税による寄附者数の増加を目指します。

### (3) 具体的な施策と事業

施策名	事業の内容
新たな働き方の創出	サテライトオフィスの設置をはじめ、空き家、空き店舗、空きビル等を活用したマッチングを行い、熱海で働く魅力を発信します。  【具体的事業等】 ・企業に対する「熱海で働く魅力」の発信 ・空き家、空き店舗、空きビル等を活用したマッチング ・多様な働き方・暮らし方の提案 ・UIJターンや二地域居住など、テレワークや新しい働き方に対応した環境の整備
[重要業績評価指標] (KPI)	サテライトオフィスの設置企業数（累計） 5件（2019年 0件）
滞在人口の増加	熱海市には関東圏を中心とした所有者の別荘が約1万棟あり、外食などの消費により、市内経済に寄与いただいています。市内情報の発信に

	<p>より別荘所有者や観光で本市を訪れる方に熱海へ来る頻度を高めてもらい、滞在人口の増加を図り、本市の様々な魅力に触れることで将来的な移住、定住につなげます。</p> <p><b>【具体的事業等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民・別荘所有者・企業・行政によるSNS等を使った情報発信</li> <li>・別荘所有者のニーズの把握</li> <li>・観光ブランドプロモーション及びメディアプロモーションの充実・強化【再掲】</li> </ul>
[重要業績評価指標] (KPI)	RESAS地域経済分析システム 滞在人口率(平日 14時) 年平均1.4倍(2019年 1.35倍)
ふるさと納税の寄附者数の増加	<p>ふるさと納税の寄附者数の増加を図り、熱海に関わる関係人口の拡大に努めます。</p> <p><b>【具体的事業等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別荘所有者を代表とする熱海に関わりのある方へのSNS等を使った情報発信</li> <li>・魅力的な返礼品の充実</li> </ul>
[重要業績評価指標] (KPI)	ふるさと納税の寄附者数 毎年2,000人以上(2019年 1,707人)

## 基本目標4 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる



わが国の出生数は減少が続いており、合計特殊出生率は、2018年時点で1.42となっています。少子化の進行は、若い世代での未婚率の増加や晩婚化に伴う第1子出産年齢の上昇、就業状況の変化に伴う結婚・妊娠・出産・子育てに対する経済的負担感や子育てと仕事の両立のしにくさなどの要因が複雑に絡み合っているといわれます。

こうしたことを踏まえ、地域や企業などと連携して、男女ともに結婚、子育て、仕事をしやすい環境整備が行われるよう、実効性のある少子化対策を総合的に推進します。

具体的には、結婚・妊娠・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立に係る育児休業などの制度等の活用を促進することに加え、子育てのサポート体制、男女の働き方などの地域の実情に応じた少子化対策の取組を推進します。

### (1) 基本とする目標（重要目標達成指標（KGI））

合計特殊出生率 1.35（2008年-2012年 1.22）

### (2) 講ずべき施策に関する基本的方向

若い世代を含む子育て世代が、結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえるため、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を推進します。また、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を推進し、男女ともに働きやすい環境を整備します。

### (3) 具体的な施策と事業

施策名	事業の内容
産み育てやすい子育て環境の充実	<p>両親ともに安心して出産・子育てができ、子どもたちや親同士が交流できるよう、産み育てやすい子育て環境の充実を図ります。</p> <p>【具体的事業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠から子育てまでの母子への支援（すくすく、情報発信等）</li> <li>・児童発達支援事業等の実施</li> <li>・妊娠時期の相談事業</li> <li>・子どもたちや親同士の交流の場の整備</li> </ul>
[重要業績評価指標（KPI）]	子育てを楽しんでいる方の割合 75%（2018年 71.5%）

施策名	事業の内容
就労支援	<p>子どもを持つ家庭が安心して仕事ができるよう、必要な保育環境を確保するとともに、事業所の理解と協力を促し、子どもや家庭が心のゆとりを持ち、安心して子育てができるよう、地域全体で取り組みます。</p> <p><b>【具体的事業等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放課後児童健全育成事業の充実</li> <li>・ 子育て支援訪問事業</li> <li>・ 保育園・認定こども園における保育環境の確保</li> <li>・ ワークライフバランスの周知</li> <li>・ 地域子育て支援事業の充実</li> </ul>
[重要業績評価指標] (KPI)	保育園及び放課後健全育成事業の待機児童0人の継続（2019年 0人）



## 基本目標5 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する



訪れたい、住みたいと思えるような地域をつくるためには、地域資源を最大限に生かし、地域に付加価値を持たせることで、魅力的な地域づくりを進める必要があります。

このため、質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図ります。あわせて、豊かな自然、観光資源、文化、スポーツなど地域の特色ある資源を最大限に生かし、地域の活性化と魅力向上を図ります。

また、急速な高齢化にも対応し、人々が地域において安心して暮らすことができるよう、医療・福祉サービス等の機能を確保し、生涯現役の社会づくりを推進するとともに、地域における防災・減災や地域の交通安全の確保を図ります。

さらに、地域間の連携を強め、それぞれの地域づくりについて活発に情報発信していきます。

### (1) 基本とする目標（重要目標達成指標（KGI））

生活全般の満足度 50.0%（2019年度 43.7%）

### (2) 講ずべき施策に関する基本的方向

市民一人ひとりが、暮らしの向上や地域課題の解決に向けて主体的に地域活動に参加するための環境づくりを推進し、地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域福祉を担う関係機関の活動の支援強化を図り、地域における支え合いの仕組みを構築します。

### (3) 具体的な施策と事業

施策名	事業の内容
安全・安心のまちづくり	<p>自主的にパトロールや地域安全情報の発信を行うなど、市民が自らの手でまちの安全を確保し、地域での多種多様な住民や団体の顔の見える交流を図るための事業を推進します。</p> <p>【具体的事業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災会の資機材整備と地域防災リーダー育成支援</li> <li>・防犯に対する市民への情報発信及び支援</li> <li>・熱海版地域包括ケアシステムの推進</li> <li>・住宅用火災警報器の設置、維持管理の推進</li> <li>・町内会組織等による地域相互支援事業</li> </ul>
[重要業績評価指標] (KPI)	地域での人との関わりについて「満足」、「やや満足」と答えた方の割合 50%（2019年 40.9%）

施策名	事業の内容
住みやすさの追求	<p>コンパクトシティ化を図り、地域コミュニティや公共施設を維持できるまちづくりを進めます。また、安全かつ円滑で誰もが利用しやすい道路環境の整備・保全に努めます。</p> <p>【具体的事業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行環境の改善による生活がしやすいまちづくり</li> <li>・公共施設等総合管理計画に沿った適正な維持管理</li> </ul>
[重要業績評価指標] (KPI)	公共施設の充足度（施設の数、種類、利用のしやすさ等）における「満足」、「やや満足」と答えた方の割合 30%（2019年 20%）
健康で生きがいのある暮らしの確保	<p>健康で生きがいのある暮らしを確保するための施策を推進します。</p> <p>【具体的事業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱海版地域包括ケアシステムの推進（再掲）</li> <li>・ニーズに沿った健康遊具等の整備</li> <li>・地域スポーツ活動の振興</li> <li>・健康づくりをサポートする組織・団体等の活動支援</li> <li>・通いの場・趣味活動・運動教室などの運営支援</li> </ul>
[重要業績評価指標] (KPI)	お達者度の向上 男性17.69年 女性21.03年（2019年 男性17.54年 女性20.96年）

